

けんすい (No.3)



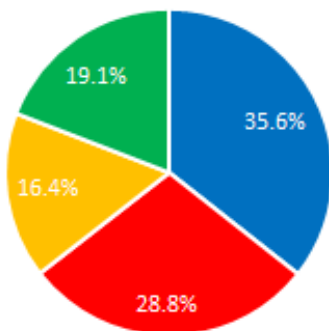
仙台市中学校教育研究会養護教育部会
研究推進委員会だより 2023/10/17
文責 研究推進委員長（東華中）

養護教育部会の研究に関するアンケート (No. 2) 結果

9月14日に開催された第2回研究会では、京都女子大学発達教育学部教育学科教授の大川尚子先生から、「養護教諭のICT活用-『令和の日本型学校教育』を担う養護教諭の資質能力の向上のために-」と題して、ご講演をいただきました。多くの会員の皆様にご参加いただきまして、ありがとうございます。アンケートの結果の一部をご紹介します。

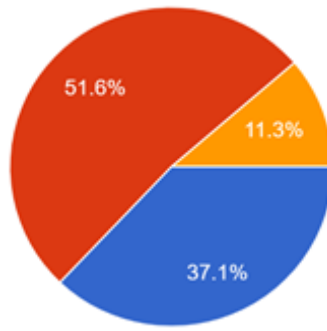
感想からも、ICTに苦手意識を持っていた方が多い中、「まずはやってみようと思った」「ICTを前向きに取り入れてみたい」という声が多くあり、これからの時代に向けて、非常に良いタイミングでの研究会になったのではないかと思います。大川先生のご講演を振り返りながら、他の方の活用したい点等も参考にいただき、今後の保健指導等にお役立ていただければ幸いです。また「こんなことをしてみました」という実践があれば、ぜひ Classroom「Cafe405 二号店」でご紹介ください。

勤務年数
(73件)



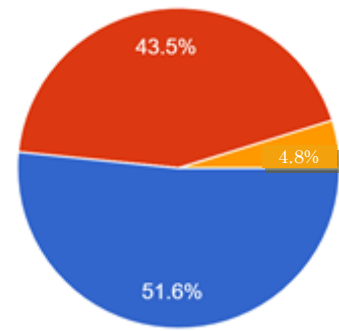
■ 1～10年
■ 11～20年
■ 21～30年
■ 31年以上

第2回研究会の満足度
(62件)



● 非常に満足
● 満足
● 普通
● やや不満
● 不満

研究会に参加したことによる
意識の変化 (62件)



● あった
● どちらかといえばあった
● どちらかといえばなかった
● なかった

1 大川先生の講演から、保健教育に取り組む際に参考にしたい・活用したいと思われた点

- ・ ICT やデジタルサイネージの活用
- ・ 健康診断前の事前指導の動画作成（健康診断の受け方など）
- ・ 健康診断の事前・事後指導，事前事後アンケート
- ・ 健康診断時の進行状況の発信，検診の呼び出し
- ・ 健康診断中の待ち時間でのスライド上映
- ・ AI テキストマイニング
- ・ 学校に来られない，教室に入れない，保健室に来られない生徒へ，ICT を活用して個別最適に健康相談を行う方法に関して，具体的に学ぶことができました。
- ・ オンライン健康相談など，実際の難しさを感じつつも，ニーズはあるのだろうと感じました。
- ・ オンライン保健室の検討

- ・「心の天気」は、全校生徒には難しいかもしれないが、別室登校の生徒や保健室頻回来室の生徒に活用してみたいと思う。フォームでの健康相談についても検討していきたいと感じた。
- ・ SNS を活用した健康相談（対面での相談を基本とし、その前段階の情報収集として）
- ・ 動画を用いた保健指導
- ・ 保健指導やアンケートで使用する
- ・ 健康観察などで取り組んでみたい
- ・ Teams など初めて聞いたものの活用
- ・ 保健便りのデータ配付
- ・ ストリーム機能
- ・ オンラインでの学校保健委員会

2 保健教育に対する意識の変化の具体的な点

- ・ ICT を活用した保健指導や健康診断の事前指導について
- ・ 学生がスマホで動画を作成していること
- ・ アンケートを作成して保健指導に活かしたり、自身の健康の振り返りをするためのフォームで活用したりするなど。
- ・ 健康診断や健康観察などデータの活用において ICT を使用し、日々の業務の効率化に努め、できた時間で生徒とのかかわりを増やしたいと思います。
- ・ ICT の活用についてもっと学習していきたい。
- ・ 苦手ではあるが、挑戦してみようかと思えてきた。
- ・ とりあえず、まずはやってみるという視点で、前向きに ICT を実践に取り入れたいという気持ちになれました。
- ・ 動画作成などでの発信力のスキルを身につけることも必要なのかなと思いました。
- ・ 保健室経営で使える ICT がいろいろあることがわかったので、参考にしたいです。
- ・ 保健教育での ICT 活用の工夫
- ・ まだまだ勉強不足だと言うことを痛感しました。
- ・ ICT の活用例を具体的に学ぶことで、保健教育をする上での ICT 活用方法を考えることができた。
- ・ 具体例を示していただけのことでできそうな気がしてくる。ヒントを得られる。
- ・ ICT 活用にはこの足を踏むことが多く、本日も ICT 支援員に手伝ってもらって classroom に入ることができる程度なのですが、アンケート調査に活用している先生方がいらっしゃるのを見て、少しでもできるようになればと思っています。
- ・ ICT 活用と言われてもどの場面にもどう活用すればいいのかわからなかったが、多数の意見を視覚化するテキストマイニングや心の天気というアプリがあるということを知り、本校でも活用できそうだった。
- ・ ICT 苦手意識から全くやろうとは思わなかったが、この研究会で ICT を活用の仕方次第でもっと教育効果が得られるのでは？と思った。まずは、自分が ICT を学ぶことですね。
- ・ 視覚に訴える内容は、かなり効果的だと思う。従来の方で取り組んできたことを ICT を利用して工夫することも考えていきたい。
- ・ 保健指導をハイブリッド形式で学年全体で実施し、その後の授業アンケートをフォームで行う、といった簡単な操作しかしたことがありませんでした。オンライン健康相談は考えたこともなかったので、新しい学びでした。

- ・ICTの活用をさらに進めていければと思いました。
- ・対面だけではなく、子どもたちへの教育や関わり方の方法として、様々な方法があることを知ることができました。
- ・新たに知ったこと（設問4に回答した内容）を実際に活用してみたいという気持ちになった。
- ・保健指導をさらに良いものにして行くため、自分自身の勉強が必要だと感じた。
- ・今までは保健だよりを通して集団へ保健指導を行っていたが、ICTを活用して健康診断の事前指導を行いたいと思った。また、事例を教えていただけたことでイメージが膨らんだ。ICTが得意ではないので時間を要す可能性がある。そのため、今のうちから勉強し取り組んでいきたい。
- ・ICTを活用することの有効性に対する意識
- ・さらに活用方法を工夫してみたいし、他の会員の皆さんの取り組みを知りたいと思いました。
- ・自分は苦手意識が強いが、生徒が気楽に参加できるなら、取り入れてみても良いと思った。
- ・健康診断の事前指導はすぐに実践していけそうと感じた。
- ・積極的にICTを活用しなければならない。
- ・生徒の実態や事情に応じICTが有効であること、知識の刷新が必要であることを改めて気づかされました。
- ・保健指導を行いたいという思いは同じですが、その手段や積極性は乏しかったため、もっと積極的に動いても良いのではないかと思いました。
- ・今年度復帰して、ICT化がかなり進んでいて、尻込みしていましたが、身近なところから少しずつ活用して、生徒とのコミュニケーションや仕事の効率化につなげていきたいと感じました。
- ・これまで健康診断前の保健指導はクラスに出向いて行わなければいけないと考えていたため、実施するのが難しかったが、オンライン実施していきたいと感じた。
- ・クラスルームのストリーム機能を使用した保健だより
- ・今後より一層ICTの知識と技術を高め、保健教育に活用していきたいと思いました。
- ・ICTを活用して、指導資料を作成してみようと思いました。
- ・ICT活用を前提とした保健室経営は、この先避けられないということを感じた。
- ・ICTへの取り組みは個人差が大きいと感じます。私はICTを取り入れての執務には至っていません。今回の研修をきっかけに取り組んでみようと思いました。そのためには、初心者向け（若人だけでなく）の研修があると助かります。（いつまで仕事をするかを考えると悩みますが）
- ・健康相談の実施形態について、新たな視点を学ぶことができた点。
- ・ICT活用指導力を向上させていかなければならないと改めて思った点。
- ・多くの先生が様々なICT活用に取り組んでいることを知り、やってみようという気持ちが高めることができた。
- ・ICT活用に少し前向きになった。
- ・保健教育がおろそかになりがちだと考えていましたが、もっと具体的な作業についての講習？演習がないとデジタル機器を活用した保健教育はさらに取り組みにくいと感じました。
- ・生徒にわかりやすく情報を伝えるために、生徒の身近にある動画などを活用していくことが大切だと感じた。
- ・ICT活用について、苦手意識があったが、様々な活用例を伺い、できそうなところから取り組んでみたいと思った。
- ・オンラインを活用することで、できることの幅を広げられると感じたこと
- ・ICTの活用方法の具体的なイメージを持てるようになった。

- ・まだまだ ICT の活用ができていなかったのので、これから色々なツールを活用していきたいと思いました。
- ・新たなものを取り入れるには労力が要りますが、もっと積極的に ICT を活用していきたいと改めて思いました。
- ・機械操作が苦手なため、ICT 活用に対して少し抵抗感があったが、生徒の生活や学びを充実させるうえで、とても有効な手段だということを学んだ。
- ・これからは積極的に ICT を活用した保健教育を実践していかなければならない時代になったのだとあらためて考えさせられました。
- ・ひとりで抱え込まず ICT の得意な先生や指導員さんに気軽に声をかけて、助けてもらえるようにしていきたい。その上で保健指導に動画等の素材を生かしていきたい。
- ・新たな取り組みによるメリット・デメリットを十分に考えたい。負担にならないように。
- ・「オンライン保健室健康相談」など、コロナ禍ならではの ICT 活用の方法を知り、自分にも実践できるような取り組みを行っていきたいと思いました。
- ・ICT に苦手意識がありましたが、健康診断や健康観察等、日常の業務の負担を大幅に減らせるということがわかったため、今後は積極的に ICT を活用していきたいと思いました。

3 講演会の感想

- ・最新の情報と養護教諭の職務を見直す機会となりました。今のアナログな保健室と ICT を活用した保健室経営とダブルで遂行できるよう勉強していきたいと思いました。
- ・養護教諭の資格の他に大学院で公認心理師の資格を取る養成課程があることを初めて知りました。
- ・完全不登校の生徒に ICT を使ってコンタクトをとってみようかと思いました。
- ・様々な事例に触れることで自分の意識を高められると思ったので、今後まずは研修等に積極的に参加していきたい。
- ・全国で養護教諭の先生方が試行錯誤しながら様々な取り組みをしていることが分かったので、自分も頑張って取り組みたいと思いました。
- ・ITC 活用が職務の中で身近になってきたと実感しました。
- ・具体的な活用例を紹介していただけで、とても参考になりました。多くの実践を、これからも部会の皆さんと共有しあえたらと思いました。
- ・オンラインが活用されるようになり、時代の変化を感じます。またそこに多様に対応できる力が求められていることが伺えました。
- ・他県の ICT 活用状況も大変参考になりました。保健室から発信できるものもあることがわかり、活用の幅を広げたいと思いました。
- ・ICT は必要に迫られてようやく使っている状態ですが、保健室でも様々な活用する方法があることを学びました。
- ・苦手意識が勝ってしまい、自発的に取りかかろうとしていなかったのですが、これからは ICT を使うことが必然となるので、今回の研修会を機に、しっかり勉強したいと思いました。
- ・ICT について、具体的な活用事例や近年の動向について学ぶことができ、非常に勉強になった。今まで ICT 活用について、自分の引き出しにアイデアがなく、取り組むことにためらいがあったが、今日のご講演から実際にやってみたいと思うことができた。ありがとうございました。
- ・公務の効率化へ ICT が良い働きをするとはいえ、昔ながらの入力で手間取っている状態では、活用するようになるのに、なかなか大変だと思いました。

- ・ICT というと身構えてしまい苦手意識があるが、具体例を示していただけることで取りかかりができるような気がする。ICT が業務の負担に感じることもあるが、工夫次第で働き方改革→業務の軽減につながられるのであれば、そうなるように取り組もうと思った。企画してくださった研究推進委員のみなさま、ありがとうございました。
- ・様々な場面で、目的に合った形でICT 活用されていることを知って、とても良かったです。他にもどんな活用の仕方があるのか、どんな方法だと勤務校に合っているのか等考えるきっかけとなりました。また、活用できるアプリやサイトがないか自分で積極的に調べることも必要だと感じました。
- ・生徒たちが使っているICT を養護教諭が使いこなせていない自分の現実。
- ・ICT は苦手意識が強いが、これからは上手に利用していく必要があると感じた。このような研修会を通して学んでいきたい。
- ・日々のことに追われてばかりで研修を深める時間を取れていないなと気づくことができました。
- ・養護教諭はクロームブックを配当されていなかったり、授業がなかなかできないことからICT 教育について置いてきぼりを感じていたが、自分から積極的に関わっていかねばならないと思った。養護教諭だからできるICT 教育について考える良い機会となり、有意義な研修でした。
- ・ICT 活用については、使用できる機能(種類)が少ないため、まだまだ使いこなせていない状況ではありますが、本日多くの実践事例を知ることができたので、少しずつできるところから取り入れていきたいと思いました。貴重なお話、ありがとうございました。
- ・保健室でもICT を活用できる機会がたくさんあることを知ることができました。特に、Teams についてどのようなものなのか分かりませんが、検診の進行状況を発信することができるということだったので、調べて次年度の検診で活用しようと思いました。また、健康診断の事前指導用の動画やスライド作成にも挑戦してみたいと思いました。オンライン保健室についても興味があります。しかし、逆に自分が大変になるのではないかという心配がつきまとい踏み出せません。とても興味があるので身近で実践されている先生がいたら具体的に教えていただきたいと思いました。
- ・これから保健指導等を行っていく上でとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・様々な取り組みの紹介から、ICT を保健管理や保健教育のたくさんの分野で活用できることがわかり、挑戦していきたいことが増えました。
- ・保健室に来室する生徒からの相談は非常に多い。オンライン窓口を作ることで気軽に相談をすることが出来る生徒も増えると思うが、今は対面による相談・保健室経営が精一杯のため、まずは出来ることからICT を活用していきたいと思った。その中で、健康診断の事前指導について興味を持った。事例や参考物まで教えていただき、大変助かった。ICT が苦手なため、次年度に向けて今から準備していきたい。
- ・とても参考になるご講演をしていただきありがとうございました。様々な実践例を見ながら、取り入れられるものは少しずつ取り入れていこうと思います。
- ・紹介動画を見ると若い方たちが新しい取り組みを発見されているので、部会でも若い方たちの柔軟な発想をぜひ紹介してもらいたいと思いました。
- ・時代の変化に合わせて、自分の業務への意識も変えていく必要があると思った。
- ・ICT の活用について実践・活用している方々の発表を知り、私自身が活用方法を知り、実践してみることが大切だと感じました。
- ・ICT 活用を有効な手段として、上手に使うと業務の負担軽減や生徒への個別の配慮にもつながることを学んだ。大川先生のお話では多くの実践の具体を教えていただき、イメージが湧きやすかったです。健康被害にも留意しながらICT 活用指導能力を高めていきたい。

- ・自分はほとんど ICT を活用していないので、みなさんがたくさん ICT を活用していると知り驚いた。
- ・「日常の執務に ICT をどう組み込めばいいのか」というややハードルが高いような思いでいましたが講演を聴き、もっと手軽なツールとして活用できるのだと知りました。
- ・生徒が一人ずつクロームブックを持つようになり、養護教諭としてもそれを活用して、生徒とのコミュニケーションや自身の仕事の効率化に活用していければと思いました。まだまだ新しいことばかりで難しいですが、ICT 支援員さんに相談しながら、少しずつ取り組みたいと思います。貴重な講演をありがとうございました。
- ・実践事例を紹介してもらったことで、ICT の活用の幅が広がったように感じました。
- ・養護教諭としてどのように活用したら良いか難しさを感じていた。今回の研修でたくさんの活用方法を知ることができて良かった。オンライン健康相談などもやってみたいと思った。
- ・保健日より一方通行で、保護者や生徒の反応が分からなかったのが、反応がわかることや人の反応を見て、反応が促進されると思うと使っていきたいと思いました。
- ・グーグルフォームの自由記述をまとめることができるサイトは初めて知ったので、これから活用していきたいです。業務を ICT 化していくことによって、より視覚的にわかりやすく生徒に保健指導ができたり、普段保健室に来室しない生徒とも健康相談ができたりと様々な可能性を広げることができると感じました。
- ・ICT を活用したほうが効果的な場面と対面が効果的な場面とそれぞれ考えながら、執務にあたっていきたいと思いました。
- ・これからは、ICT での執務が増えてくると思うので、研修の機会（レベルに合わせた研修）が多くあると良いと思います。今後、対面でも ICT でも相談対応をするようになると、メリット・デメリットがあり、養護教諭の執務がますます多忙になるのではと別の面での心配もあります。
- ・今回は貴重な講演をありがとうございました。現在小規模校に勤務しているため、ICT の活用や校務のスリム化を図ることの大切さを認識しつつも、実践するに至っていない状況でしたが、今回の講演から、ICT や SNS を活用した保健室経営を行うことが生徒への支援の幅を広げることになると思いました。具体的な活用方法や事例等もご紹介いただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・「こういうことをしてみたいけど、よく分からない」などの理由で後回しにし、結局取り留めずに終わってしまうことがこれまでもありました。実際に取り組み始めてから気づくことや学ぶことも多いと思うので、まずは「やってみる」という意識で ICT 活用について研鑽を深めていきたいと思っています。
- ・日常の執務に、できる範囲で取り入れていきたい。
- ・ICT 活用に尻込みをしていたが、挑戦してみたいと思いました。
- ・デジタル機器に対して苦手意識があるのですが、ICT 支援員の方に指導を受けながら資料を参考に、まねすることから始めていきたいと思っています。
- ・生徒の健康状態など現状を把握することや業務の効率化を図るためにも、ICT を活用していきたい。1人ではできないことも多いので、ICT 担当の先生や ICT 支援員の力を借りながら、勤務していきたいと思う。
- ・様々な場面で ICT を活用できる事が分かった。授業に入ることはなかなか難しいため、活用例を参考に、動画など ICT だからできることに挑戦してみたい。オンラインによる健康相談は、面と向かって話しづらい生徒にとっても有効な方法だと思った。
- ・ICT の活用方法の事例が大変参考になりました。貴重なお話ありがとうございました。

- ・ 養護教諭が行う指導についても積極的に ICT を活用し、生徒たちにとってより効果的な学びになるよう、いろいろなツールの使い方を習得したいと思いました。
- ・ 研修を受けることで、アイデアの幅が広がりました。学び続けることの大切さを改めて実感しました。
- ・ 新たな事に慣れるまで時間がかかりどうであるが、先進的な取り組み例を参照し、少しずつでも学んでいきたい。
- ・ 保健教育において ICT をどのように活用していけばよいのか不明な部分が自分の中であったが、今回の研究会で取り組み方法の具体的なイメージを持つことができた。
- ・ 養護教諭が ICT を活用して保健室経営を行うのは、使いこなせる自信も無くハードルの高いイメージがありました。しかし、今回の研究会で大川先生の話聞かせていただき、自分にも実践できそうな事例を知ることができ、大変大きな学びとなりました。

アンケート回答へのご協力、ありがとうございました。